

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	丹波漆活用調査研究事業			230288	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治				
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)文化振興費	決算附属資料	74	頁			
	施策の大綱	文化活動の推進				関連計画等	-			
	施策名	文化活動を振興する				根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	丹波漆の文化的特性、伝統性を活かしながら、継承と発展を推進する。また、シティプロモーションの側面からも本市の顔となる文化、産業の育成と振興、ブランド化を進める。								
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.05				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 調査委託:京都工芸繊維大学、福知山公立大学								
	事業概要	丹波漆の活用について伝統文化の継承とともに漆の生産・販売等、育成・振興、ブランド化を目指す。 ■庁内関係課による丹波漆振興のPTを設置し、文化庁・京都府、NPO、大学等の助言を得ながら丹波漆の振興等について検討する。 ■大学等へ丹波漆の振興策等の調査・研究委託を行い、まちづくりの資源として「丹波漆」の魅力を全国に発信し、文化の継承とともに生産・流通・販路等を拡大する手法の検討を行う。 ■丹波漆生産拡大のため苗木の購入、漆植栽を行う								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		報償費		検討会議等出席謝礼				176		
旅費		先進地視察、検討会議出席旅費				486				
需用費		漆苗木購入				158				
役務費		郵送料等				1				
委託料		丹波漆振興策等調査委託				470				
関連事業	なし									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	2,000	3,150				
		補正予算等・・・②		0	△ 700	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	0	0				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	1,300	3,150				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	0				
		特定財源名称(H29実績)	豊かな森を育てる府民税			1,291	府補助金	22	頁	
	職員人件費		従事職員数(正職/嘱託)	0/0	0.29/0	0.29/0	/			
		概算人件費・・・④	0	2,320	2,320					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	3,620	5,470					
執行状況	執行額・・・⑥		0	1,291						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	99.3%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		漆生産量	g	-	1486/5300	/5300	5300			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		漆植栽	本	-	100/400	/400	400			
		単位あたりコスト				12.9				
					-	-	/			
単位あたりコスト			0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市を代表する伝統文化の丹波漆の更なる振興のため、必要な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	漆振興のための植栽支援、調査研究事業を展開するが、具体的な展開のためにさらに緊密な担い手と行政の連携の検討が必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	事例の情報収集は事業実施により、成果を得ている。目標である商品開発は、丹波漆の生産量や担い手の現状を踏まえ、デザイナー等との連携を深めていく必要がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	■丹波漆の生産を安定化し、経済的な安定性を確保するためには継続的な植栽計画が必要である。市の支援及び植栽地貸与等により漆木を確保し、生産に繋げる。 ■伝統工芸品を制作している地域での教育への取り組み、魅力発信のためのしかけ(イベント、展示等)、職人の育成の取り組み、伝統工芸と現代的活用を調査した。 ■丹波漆を活用した文化・技術体験の手法を観光事業等への活用も含めて調査研究し、丹波漆・漆器生産の担い手の経済的な安定性を確保するしくみを検討した。	
	今後の課題及び方向性	■製品、商品作りに携わる職人を育成し、丹波漆のブランディングを構築するための商品化を進める。 ■伝統的な漆製品とともに新たな漆製品の開発・企画、販売等について製造者と協働して商品づくりの方向性を探り、次年度に販売・展示等を計画する。 ■丹波漆への理解を深めるため、市民が直に見て、触れて、使って漆の魅力を感じ取っていただける機会を提供する。 ■NPOと一緒に植栽の推進を図る		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・現状は植栽もなかなか進んでないが、それにとらわれず最終目標に向けて進められたい		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	厚生会館文化芸術振興自主事業			650202	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成12(2000)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治			
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)文化振興費	決算附属資料	74	頁		
	施策の大綱	文化活動の推進			関連計画等	-			
	施策名	文化活動を振興する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台・客席を持つホールとして、舞台芸術を中心とした文化の拠点として利用促進と情報発信を行う。 地域の文化振興を図るため厚生会館の自主運営事業としてクラシックコンサートの開催、ガラコンサート(福知山近郊演奏家出演)、スタインウェイ(厚生会館備品ピアノ)を弾いてみよう等からなる厚生会館文化芸術振興自主事業を実施。							
	対象者	市民、施設利用者(市内外を対象。営利・非営利) 出演者(市内外を対象) 入場者(市内外を対象)	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.02			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	■厚生会館の文化事業の企画運営を実施 音楽系のスタインウェイを弾いてみよう、クラシックガラ・コンサート、文化公演自主事業の3事業を厚生会館の文化施設としての特徴を活かした自主事業とし、展示系のギャラリーウィークとあわせて、厚生会館の空室、備品(スタインウェイピアノ)の有効活用を図る。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		負担金補助及び交付金		文化公演自主事業実行委員会補助金			570		
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		740	695	678			
		補正予算等・・・②		0	△ 51	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		0	0	0			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		740	644	678			
		特定財源名称 (H29実績)	厚生会館自主事業参加料			19	雑入	46	頁
								頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.09/0.15	0.09/0.15	0.09/0.15	/		
概算人件費・・・④		1,095	1,095	1,095					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,835	1,739	1,773				
執行状況	執行額・・・⑥		710	570					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		95.9%	88.5%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		コンサート等来場者数	人	1184/1000	395/1000	/1000	1000		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		文化振興事業実施件数	回	3/4	3/4	/4	4		
		単位あたりコスト		236.7	190.0				
						/			
		単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・“大都会圏に行かなくとも地元で優れた音楽を聞く”とのコンセプトにより、本市での音楽芸術の振興と機会を創出する。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・企画・立案は実行委員会を結成し、無報酬の市民協働により事業推進。コンサート等の入場料により効果ある事業推進を図っている
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	利用が少ない夏季期間の空き室の有効活用等を図っている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	①スタインウェイを弾いてみよう: 第12回を迎え、市民の間で定着してきている。 ②クラシックガラ・コンサート: 本年度は中止した。 ③ギャラリーウィーク: 応募がなかった。 ④文化公演自主事業: 「宮谷理香ピアノコンサート」を11月12日に実施した。(来場者395名)		
	今後の課題及び方向性	市民に良質な音楽に触れる機会を提供するという主旨で始まった事業として定着してきている。文化公演自主事業のクラシックコンサートは出演者のネームバリュー等によって入場者数は変動するが、アンケート結果等からも質の高いコンサートとして本市の文化芸術の振興に貢献している。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・ギャラリーウィークについて、2年連続不開催(応募者なし)の結果なので、出展者募集の際は広報の工夫が必要。また市民交流プラザのギャラリーとの差別化、もしくは同開催等の検討も必要と感じた。 ・入場料の適正化やニーズを把握しての事業となっているのか、また、厚生会館の使用率を見て低い時期に、このような事業の公費を投入できているのかなど再度検証し、今後の事業展開を検討する必要があるのではないか。 ・会場の集約人数の制限等あるとのことだったが、より市民のニーズにあった出演者を選定してもらいたいと考えるのでアンケート項目に出演者の希望を追加してみてもいい。 ・補助金の交付方法として、実績(入場者数)見合いで交付することの検討も必要に思われた。 ・8月中は市内団体からの申請で芸術関係の個展開催時のみ部屋の使用料を減免するなど募集型ではない工夫はどうか ・実行委員会事務局の見直しを(予算執行方針に則り) ・現在第17回で、第20回を区切りと考えておられるが、その後のあり方(継続or終了or隔年)について検討されたい		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	市展事業			650203	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	昭和38(1963)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治				
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)文化振興費	決算附属資料	74	頁			
	施策の大綱	文化活動の推進			関連計画等	-				
	施策名	文化活動を振興する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業			<input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	多くの市民が芸術活動・創作活動に主体的に参画し、また、発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築する。市民に創作活動の発表の場と文化芸術に親しむ機会を提供し、市民の自主的な文化・芸術活動が広範かつ積極的に行われる。								
	対象者	市民、出品者 (三たん地域のアマチュア芸術愛好者) 入場者 (市内・市外を対象)	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.08				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 日本通運株式会社関西美術品支店 ほか								
	事業概要	■三たん地域で文化・芸術活動をされている方を対象に作品を一般公募し、審査のうえ、入選以上の作品を厚生会館に展示する。市展運営委員会(学識経験者)と事務局による事業。絵画、彫刻、工芸、写真、書の5部門。文化の日を中心に展示開催。								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		報酬		運営委員報酬				100		
報償費		審査・講評会謝礼				1,404				
需用費		消耗品費、印刷瀬本費				360				
役務費		郵送料				242				
委託料 他		委託料621、使用料及び賃借料833				1,454				
関連事業	佐藤太清記念美術館特別展事業、厚生会館文化芸術振興自主事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		3,680	3,497	3,408				
		補正予算等・・・②		485	83	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		560	83	0				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		3,605	3,497	3,408				
		特定財源名称(H29実績)	市展事業基金繰入		250	基金繰入金	35	頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.53/0	0.37/0	0.37/0	/			
概算人件費・・・④		4,240	2,960	2,960						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			8,405	6,540	6,368					
執行状況	執行額・・・⑥		4,160	3,560						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.9%	99.4%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		出品点数	点	539/500	548/500	/500	600			
		来場者数	人	2824/3000	2788/3000	/3000	3000			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		市展開催	回	1/1	1/1	/1	1			
		単位あたりコスト		4,160.0	3,560.0					
単位あたりコスト										

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市を代表する文化事業として広く認知され、全体的かつ三たん地域(丹後・丹波・但馬)の公募美術展として定着をしている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	共催団体との連携、業務委託によりさらに効率化を図る。会場の設営・展示・撤収作業は専門業者に委託することで効率化を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市展が市民の芸術活動の発表の場と、入選・入賞が目標となっている。高校生や初心者も安価で出品することができ、次世代への投資・人材育成の場となっている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	市展53回を数え、三たん地方を中心に活動される方の市民公募展として定着している。		
	今後の課題及び方向性	出品者及び来場者の高齢化が課題となっている。三たん地域の過疎化・人口減少の中、成果目標数値を維持できているのは、60歳以上の出品者の創作活動に支えられている。高校生世代にも出品を呼びかけるために学校訪問を実施するとともに出品料について再検討を行う。市展新人賞の位置付け変更等の議論を進め、出品数の減少傾向に歯止めをかけるとともに、入場者数の増加に向けて、PR方法について改善手法を検討していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・出展料が大人2,000円と高校生500円の設定となっており、大半は高齢者の出展である。ターゲットとして、若者にも拡大していきたいという考えがあるのであれば、大学生枠を設けるなど工夫をしてもよいのではないかと。 ・市展の伝統的な歴史もあるが、奇抜な発想(たとえばオークションや即売会など)を取り入れられないか。⇒やるからにはもっと市展を盛り上げたい。 ・60歳以上の創作活動を支える創作活動のきっかけ作り(コミセン等の教室等)と連携し、双方から市展が盛り上がるような仕組みづくりを。 ・入場者数の減少及び出品者の高齢化等の課題について改善策を検討の必要があると考える。 ・現行通りでよいと思うが、これまでの伝統を踏まえたなかで出品点数の確保も大事であるが、市展のレベル維持にも努められたい		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	佐藤太清賞公募美術展事業			650205	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成13(2001)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治				
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)文化振興費	決算附属資料	74・76	頁			
	施策の大綱	文化活動の推進			関連計画等	-				
	施策名	文化活動を振興する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業			<input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	福知山市固有の資産である名誉市民佐藤太清画伯の顕彰と文化芸術に携わる人材を育成する。北近畿の中核都市に相応しい本市の文化的イメージの向上と全国的な情報を発信する。市民が誇りの持てる福知山市を確立する。								
	対象者	市民、出品者(芸術を志す全国の高校生・大学生等16歳から27歳までの方)、入場者(市内外を対象)		対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.19			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他								
	事業概要	<委託先・実施主体等> 日本通運株式会社関西美術品支店 ほか ■全国規模の絵画・日本画の公募美術展。対象は高校生・大学生等の若手芸術家や将来芸術家を目指す若年層。入選以上の作品については、福知山・横浜・東京・京都・名古屋の5会場で巡回展示を行う。								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		報償費		奨学金、審査謝礼、表彰楯				3,083		
旅費		審査、表彰式、巡回展旅費				787				
需用費		消耗品費				80				
役務費		額装手数、看板書換、郵送料				154				
委託料他		委託料6,562 使用料及び賃借料1,635				8,198				
関連事業	佐藤太清記念美術館管理運営事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		12,500	12,411	12,411				
		補正予算等・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		2,470	4,076	5,316				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		10,030	8,335	7,095				
		特定財源名称(H29実績)	佐藤太清賞公募美術展			3,660	基金繰入金	36	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.29/0	0.29/0.06	0.29/0.06	/			
		概算人件費・・・④		2,320	2,470	2,470				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			14,820	14,881	14,881					
執行状況	執行額・・・⑥		12,189	12,302						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		97.5%	99.1%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		出品者数	人	137/250	181/250	/250	250			
		入場者数	人	1967/2000	1859/2000	/2000	2000			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		美術展の開催	回	1/1	1/1	/1	1			
		単位あたりコスト		12,189.0	12,302.0					
単位あたりコスト					/					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	日本各地から応募があり、若手の登竜門として定着した。受賞者の中には日展作家、画業を卒業とされる方も輩出しており、福知山市のPRにつながっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	文化事業として本市独自の資産を活用して全国的に情報発信ができる重要な事業である。地元高校生の出品等もあり次世代育成となっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	事務局機能を業務委託することにより、複雑かつ専門的な業務の効率化を進めている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>出品点数が前回より増加した。 新規校からの初出品もあり、今後引き続き応募の啓発を進めて行く。 全国5会場の巡回展では、福知山市の芸術文化を全国に発信することができた。 市内出品者の入選が2件あった(絵画)。市内での普及を引き続き図っていく。</p>	
	今後の課題及び方向性	<p>出品者の増を図るため、大学・専門学校等への案内の徹底を図るとともに、市内出品者が増えるよう各高校への周知を図っていく。入場者数の増加に向けて、各会場でのPR方法の検討を行い、専門誌等への有効な広報活動等を行い、福知山市のPRを図る必要がある。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見			
	<ul style="list-style-type: none"> ・他の美術展との比較において、本事業は競争性があるのか。出品料は適正か。出品数は適度な数か、他の展との比較で分析すべき。 ・賞の名称に福知山市をちゃんと入れておくべき。美術館の名称も市名が入った正式名称があらゆる書類に入るように意識されたい。事業名にも福知山市を入れてほしい。 ・基金残高が0になった段階の対応を考えなければならない ・過去の受賞者に市のPR、更には寄附につながるようお願いできないか ・地元小、中学生の参加の仕組みを考えてはどうか ・多様な財源を模索すべく、企業メセナなども検討されたい ・基金の残高と毎年度の取崩し額からあと5年(H34年度)で底をつくので、代替の財源の確保を考えられたい ・一般財源が1,300千円/年ずつ増えているので、歳出抑制の検討を 			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	中丹文化芸術祭事業			650208	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	昭和61(1986)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 文化振興費	決算附属資料	76	頁		
	施策の大綱	文化活動の推進			関連計画等	-			
	施策名	文化活動を振興する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業			<input type="checkbox"/> その他 ()				
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	市民が芸術活動・創作活動を主体的に参画して作り上げ、また発表・鑑賞することによって、豊かな感性を持った心豊かな地域社会を構築する。また、優れた芸術鑑賞の機会を提供するとともに、中丹・丹後地域の文化団体の文化交流によって、新たな文化創造を行う。							
	対象者	市民 文化活動団体 事業参加者 (市内・市外を対象)	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 補助先:中丹文化芸術祭実行委員会							
	事業概要	■中丹3市と中丹文化事業団の共催で、市民及び文化団体の舞台芸術や創作活動の総合的な発表会を提供する。各市文化団体を含めた実行委員会を組織して実施する。開催場所は、3市で分担し、3市が持ち回りで事務局を担当する。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		使用料及び賃借料		厚生会館使用料			81		
負担金補助及び交付金		分担金			400				
関連事業	なし								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		675	675	600			
		補正予算等・・・②		0	△ 194	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		675	481	600			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称(H29実績)					頁	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.09/0	0.08/0	0.08/0	/		
		概算人件費・・・④		720	640	640			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,395	1,121	1,240				
執行状況	執行額・・・⑥		666	481					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.7%	100.0%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		出演者数	人	1908/2300	1820/2300	/2300	2300		
		来場者数	人	2365/3000	2489/3000	/3000	3000		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		開催種目数	件	9/9	9/9	/9	9		
		単位あたりコスト		74.0	53.4				
単位あたりコスト				/					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	文化団体の文化交流によって、新たな文化創造を行う。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	職員及び文化協会委員による実行委員会により運営されており、会場使用料等及び負担金で効率的に事業実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	出演種目にあわせ、次世代育成も視野に入れた事業が展開されており、他団体との共催などによりレベルアップの動機づけや活動の振興の機会として有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	文化団体の交流や共通の発表の場を通じてレベルアップや文化振興につながられている。	
	今後の課題及び方向性	京都府と中丹3市の協調で実施している事業でもあり、互いに課題や情報の共有を行いながら実施していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・福知山市の開催される事業が他市と比べ少ない。福知山市での事業開催数を増やしてもらえないのか(隔年開催とかでもいいのか)。もしくは、負担金の算出に開催市割の導入をしてもらえないのか。 (他市との関係もあるので、本市だけではどうにもならないが検討する余地はあるのではないかと) ・過去に記念大会等で例があることから、北部7市町での広域開催も定期的に開催して文化交流等の機会創出をお願いします ・明確な目標やニーズの把握が必要 ・国庫補助金の確保 ・開催時期や開催場所など実施方法の見直しを検討いただきたいと思います ・三市均等ではなく、人口割とか開催種目数での分担金の産出に見直しを検討されたい(31予算に向けて)		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	佐藤太清記念美術館特別展事業			650210	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成22(2010)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治				
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 文化振興費	決算附属資料	76	頁			
	施策の大綱	文化活動の推進			関連計画等	-				
	施策名	文化活動を振興する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	著名な作家の作品による特別展の開催により、芸術文化を振興し、絵画愛好者の裾野を広げる。また、ギャラリートークの開催など工夫をこらしたイベント等により入館者の増加を図る。								
	対象者	市民、入館者、施設利用者 (市内・市外を対象)	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.11				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 日本通運株式会社関西美術品支店								
	事業概要	著名な絵本作家の作品展を行いギャラリートークを実施する。さらに、企画展として市展作品展や高校アート展等身近な作家による展覧会を実施する。								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		旅費		講師旅費、学芸員旅費				227		
需用費		消耗品費、チラシ・ポスター印刷				517				
役務費		郵送料、看板書換手数料				222				
委託料他		作品運搬展示業務				1,027				
使用料及び賃借料		作品賃借				1,117				
関連事業	佐藤太清記念美術館管理運営事業、佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業、市展事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		3,430	3,173	2,799				
		補正予算等・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	0	0				
		国支出金		1,175	1,586	1,399				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		2,255	1,587	1,400				
	特定財源名称(H29実績)	特別展事業(地方創生推進)			1,390	国補助金	16	頁		
		佐藤太清記念美術館整備基金			1,587	基金繰入金	36	頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.31/0.7	0.39/0.85	0.39/0.85					
	概算人件費・・・④		4,230	5,245	5,245					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			7,660	8,418	8,044					
執行状況	執行額・・・⑥		2,976	3,110						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		86.8%	98.0%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		特別展事業入館者数	人	8273/4000	5970/4000	/5000	6000			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		企画展・特別展開催数	回	6/4	6/4	/4	4			
		単位あたりコスト		496.0	518.3					
		単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	各種特別展、企画展、体験学習会等を通じわかり易く、楽しい美術館を目指し、本市の文化芸術推進、普及啓発の核施設として各種事業を展開している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	基金運用、国補助金の確保に努め、入館料を確保するため、市民に喜ばれ、来訪者にも人気ある特別展・企画展等の実施を心がけている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	入館者数も増加傾向にあり、限られた財源の中、芸術鑑賞のみならず参加も図られることにより、本市の芸術文化の創造につなげることができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	わかり易く、楽しい展覧会を目指し各種企画・特別展を開催した。魅力ある展示内容、ワークショップ等の市民参加型の体験会を実施することで市民に文化芸術に触れていただく機会を創出する。今後も引き続き魅力ある、展覧会開催を目指す。	
	今後の課題及び方向性	見たい展覧会、参加したいワークショップ等、市民ニーズに合致した企画運営を図り施設の有効的に活用する。図書館、学校等関連事業とも連携し入館者数増につながる特別展・展示内容が必要であり、展示計画を策定して進めていく。佐藤太清賞公募美術展、美術館特別展事業、企画展示品等充実事業と連携して進めていく		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見			
	<ul style="list-style-type: none"> ・入場者の属性を分析して、料金設定を工夫すべき ・市民の文化意識を高めることが目的なら、市内と市外の料金を区分すべき。市外については料金を多少上げて来るのではないか。入場者数を最大にする料金政策を考えるべき。 ・特別展事業の収支がどのようになっているかが知りたい。特別展がどのような位置づけになっているか考える必要がある。 ・市内の小中高大生市民が、もっと来やすい料金体系も検討すべきではないか ・毎年、企画ができるキュレーターのような方とのパートナーシップを強固に構築し、委託など処遇改善も含めた持続可能な質向上の仕組みづくりが必要 ・特別展が美術館に来てもらえるようになるためのよび水となり、入館者が増えればよいと思う 			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山市アーティスト・イン・レジデンス事業			650225	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治				
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 文化振興費	決算附属資料	76	頁			
	施策の大綱	文化活動の推進			関連計画等	-				
	施策名	文化活動を振興する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	地域の人々が主体となって芸術文化活動に関わる環境づくりを促進し、地域の魅力をアートの視点から引き出すアーティスト・イン・レジデンス事業を実施する。								
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.03				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 負担先: 京都Re-Search実行委員会								
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 京都アーティスト・イン・レジデンス実行委員会(事務局: 京都府)を組織 ■ 若手アーティストを全国公募(7~8名) ■ 福知山市域内で15日間程度宿泊 ■ 地域の特色、魅力をワークショップにて探索、研究 ■ 地域研究を進めて創作活動、発表 								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費			
	旅費		実行委員会参加旅費			14				
	負担金補助及び交付金		実行委員会負担金			500				
関連事業	なし									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算...①		0	544	1,557				
		補正予算等...②		0	0	0				
		繰越し等...③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	272	0				
		国支出金		0	272	778				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	779				
		特定財源名称(H29実績)	地方創生推進交付金			250	国補助金	16	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.20/0	0.20/0	/			
概算人件費...④		0	1,600	1,600						
総事業費(①+②+③+④)...⑤			0	2,144	3,157					
執行状況	執行額...⑥		0	514						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	94.5%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		レジデンス参加者	人	-	6/6	/4	2			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		作品展示発表	点	-	6/6	/4	4			
		単位あたりコスト		-	85.7					
		単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	アートの視点から地域の魅力を掘り起こし、そこから生まれる交流人口の拡大、地域の活性化へつなげる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	京都府が事務局となり、実行委員会により実施。地域アートマネージャー（中丹広域振興局）を中心にアーティスト・文化協力員・地元住民との交流を図っていく。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	アーティストによる地元での聞き取り調査を行うことにより、交流（動き）が生まれる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>■国際的に活躍するアーティストやキュレーターたちが、リサーチの手法やアートプロジェクトの作り方を学ぶワークショップやフィールドワーク、参加者が行う調査へのアドバイスを行った。</p> <p>■集会所周辺地域及び調査箇所の方々との交流を通して、一部ではあるが地域の文化に対する人の動きが生まれた。今回参加の6人6様の発想に、関わった方たちが見落とししていたことや新しい視点に気づくことができた。</p>	
	今後の課題及び方向性	<p>■「京都：Re-Search」の成果を踏まえた制作発表へと繋げるため、さらに地元アーティストや地域住民との交流を深め、地域の人々がアートに触れ、楽しむ機会を増やすとともに、地域が本来持ち得ているポテンシャルやその魅力をアートの視点から引き出すことで、“文化を活かしたまちづくり”の実現を図る。</p> <p>■地域の人が主体となって芸術文化活動に関わる環境づくりを促進し、地域の持つポテンシャル（潜在力）・魅力を外部アーティストのアート（芸術的）の視点から引き出すことにより、交流人口の拡大、地域の活性化に寄与する取組、地域の新たな価値の情報発信につなげる。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内） 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市としての事業目的は何か、府のつき合いでやっているだけではないのか？ ・アーティストの活動や地域との交流・協働のなかで、期待するものがあるならば、それをしっかりと捉えて明確にすべき。そうでないなら、やめるべき。 ・アーティストの一時的な活動のためだけならば、この事業自体に意義はない。逆に、アートによるまちづくりの一環で取り組むならば、その方向性と全体像をクリアにしつつ、腰をすえて進めるべき ・府につきあって実施するのであれば、市としては関わらなくてもよいのでは ・市として続けるなら、市の役割と目標の明確化が必要 ・終了予定がH32であるが、終期目標設定が必要 		
	三次評価（外部） 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H30）	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業			650302	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成2(1990)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治				
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 文化振興費	決算附属資料	76・78	頁			
	施策の大綱	文化活動の推進			関連計画等	-				
	施策名	文化活動を振興する			根拠法令等	福知山市佐藤太清記念美術館条例				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業			<input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	日本画家佐藤太清の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用を図り、市民文化の発展に寄与し、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供し、本市の文化的な情報発信をおこない、文化的イメージアップを図る。 名誉市民佐藤太清画伯を顕彰する。								
	対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象) 施設利用者(市内・市外を対象)	対象者数	1,000,000	一人当たりコスト	0.00				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 株式会社アートサービス丘 ほか								
	事業概要	■福知山市佐藤太清記念美術館収蔵作品及び佐藤太清受賞作品の修理・額装。 ちいさな絵画展や美術館コンサート開催								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		報償費		審査員謝礼				151		
需用費		消耗品費(記念品)、チラシ印刷				114				
役務費		郵送料、額装手数料				36				
委託料		額装業務委託、コンサート公演業務				438				
使用料及び賃借料		パイプいす				20				
関連事業	佐藤太清賞公募美術展事業、佐藤太清記念美術館特別展事業、市展事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		986	910	850				
		補正予算等・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		616	0	250				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		370	910	600				
		特定財源名称(H29実績)	企画・展示品事業基金繰入			307	基金繰入金	36	頁	
	職員人件費		従事職員数(正職/嘱託)	0.05/0.38	0.13/0.42	0.13/0.42	/			
			概算人件費・・・④	1,350	2,090	2,090				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,336	3,000	2,940					
執行状況	執行額・・・⑥		872	759						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		88.4%	83.4%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		入館者数	人	11971/8000	9063/8000	/9000	11000			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		開館日数	日	290/295	286/295	/295	295			
		単位あたりコスト		3.0	2.7					
		単位あたりコスト				/				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	美術館の使命である芸術作品の収集・保管、活用を図るため収蔵品の適切な管理を行う。美術館環境を活用したコンサート等の普及事業が求められおり、市民にも定着している
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	収蔵資料の額装等、専門性を要するものは業務委託し効率的に管理を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	福知山市の文化資産を管理・活用することで文化的イメージの向上を図ることができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	わかり易く、楽しい展覧会を目指し各種企画を開催した。魅力ある展示内容、ワークショップ等の市民参加型の体験会を実施し、入場者増を図っている。今後も引き続き魅力ある、訪れたい展覧会開催を目指す。	
	今後の課題及び方向性	収蔵資料の適切な保存・管理を進めるとともに、文化資源を活用した普及啓発事業を進めていく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見			
	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤太清賞公募美術展事業、佐藤太清記念美術館特別展事業と同様 ・コンサートなど特別企画展示より充実させられたい ・いざという時の水害リスクも念のための対応も 			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	郷土資料館整備事業			650305	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治				
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 文化振興費	決算附属資料	78	頁			
	施策の大綱	文化活動の推進			関連計画等	-				
	施策名	文化活動を振興する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業			<input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市を代表する歴史的建造物でシンボルである福知山城の適正な維持管理を行う。 歴史資料等の保存及び活用を図り、市民文化の発展に寄与する。 ハロン化物消火設備を更新し火災に対応するために実施する。								
	対象者	郷土資料館	対象者数	1	一人当たりコスト	11,484.00				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	福知山城(郷土資料館)は建築後30年を経過し、外部・内部の設備が劣化している。資料館施設であるため、火災等に際してのスプリンクラー作動を行わないものとしてハロン化物消火設備を設置しており、今回この設備の法定更新時期を迎えたため、取替え工事を実施した。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		工事請負費		ハロン化物消火設備更新工事				9,094		
関連事業										
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算…①		1,425	11,500	0				
		補正予算等…②		0	△ 596	0				
		繰越し等…③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	0	0				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	8,200	0				
		その他特財		1,425	2,704	0				
		特定財源名称 (H29実績)	郷土資料館整備基金繰入			994	基金繰入金	34	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		014/0.04	0.06/0.04	0.06/0.04				
		概算人件費…④		1,220	580	580				
総事業費(①+②+③+④)…⑤			2,645	11,484	580					
執行状況	執行額…⑥		950	9,094						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		66.7%	83.4%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		入館者数	人	39671/36000	37043/36000	/38000	42000			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		開館日数	日	306/308	308/308	/310	310			
		単位あたりコスト		3.1	29.5					
		単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市のランドマーク、シンボルとして広く親しまれ、本市の歴史を紹介する数少ない施設であるが建設後30年を経て施設・設備の老朽化が進む。整備の計画的な更新が必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	建築技師によって設計し、入札による発注方法により効率的な業務発注ができています。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	来館者に適切な施設環境を整えるとともに安心・安全な施設運営を進めることができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	消火設備を更新した。	
	今後の課題及び方向性	平成28年度に天守閣再建30周年を迎え、施設の老朽化が見られるため、計画的に修繕・改修等の対策が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料館という名にふさわしい内部管理・設備管理ができていないか疑問。改善すべき点は多々ある。竜王戦や大河誘致を奇貨として、根本から見つめ直してほしい ・事業統合を ・必要と見込まれる整備費用について普建調に記載を。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	佐藤太清記念美術館管理運営事業			650306	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成2(1990)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治				
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 文化振興費	決算附属資料	78	頁			
	施策の大綱	文化活動の推進			関連計画等	-				
	施策名	文化活動を振興する			根拠法令等	福知山市佐藤太清記念美術館条例				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業			<input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	日本画家佐藤太清の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用を図り、市民文化の発展に寄与し、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供し、本市の文化的な情報発信をおこない、文化的イメージアップを図る。 名誉市民佐藤太清画伯を顕彰する。								
	対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象) 施設利用者(市内・市外を対象)	対象者数	1,000,000	一人当たりコスト	0.01				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 三菱電機ビルテクノサービス株式会社 他								
	事業概要	■福知山市佐藤太清記念美術館の管理運営を行う。佐藤太清画伯の作品を中心とした日本画の収集保管・展示。佐藤太清画伯に関わる資料の収集・保管。美術館専用のホームページを運営し、広く全国へ情報発信。								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		需用費		光熱水費、消耗品費				4,483		
役務費		電話代、郵送料				338				
委託料		業務委託				2,498				
使用料及び賃借料		複写機使用料				94				
備品購入費		デスクライト、DVD再生機、デジタルカメラ				60				
関連事業	佐藤太清賞公募美術展事業、佐藤太清記念美術館特別展事業、市展事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		9,550	8,537	8,447				
		補正予算等・・・②		△ 192	△ 981	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		5,849	5,236	5,728				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		3,509	2,320	2,719				
		特定財源名称(H29実績)	佐藤太清記念美術館入館料			1,049	使用料	8	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.21/1.7	0.29/1.7	0.29/1.7				
		概算人件費・・・④		5,930	6,570	6,570				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			15,288	14,126	15,017					
執行状況	執行額・・・⑥		9,066	7,473						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		96.9%	98.9%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		入館者数	人	11971/8000	9063/8000	/9000	11000			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		開館日数	日	290/295	286/295	/295	295			
		単位あたりコスト		31.3	26.1					
		単位あたりコスト				/				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	京都府北部随一の美術館として、福知山市の文化水準を全国に発信するための存在意義は大きい
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	美術館は全国的に情報発信できる福知山市固有の文化的資産を有しており、福知山市の対外的な文化的イメージの向上をはかる数少ない事業である
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	嘱託職員を中心に運営しており施設管理等は効率的におこなっている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	展示や資料整理、施設管理等適切に運営することができた。また、わかり易く、楽しい展覧会を目指し各種企画・特別展を開催した。 魅力ある展示内容、ワークショップ等の市民参加型の体験会を実施し、市民に文化芸術に触れていただく機会を創出している。 今後も引き続き魅力ある、訪れたい展覧会開催を目指す。	
	今後の課題及び方向性	施設設置後30年近くを経て、設備等の老朽化が進んでおり、計画的な機器更新が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・美術館としての価値(≒佐藤太清画伯の作品の付加価値)を最大化するような運営ができていると言えるか。そうした観点・意識が共有化されているか？ 直営にこだわらず、上記の観点であり方を再構築すること。入館者数が伸び悩み、城の1/4以下に留まり、知名度も高まっていない状況は看過できない ・運営費の1/2は入館料でまかなうというような目標設定をして、運営のあり方を見直してほしい ・周辺には人が来ているので、取り込めるような試み、検討が必要では		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	治水記念館管理運営事業			650311	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成16(2004)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	森下邦治		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 文化振興費			決算附属資料	78	頁	
	施策の大綱	文化活動の推進				関連計画等	-			
	施策名	文化活動を振興する				根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	由良川の水害、治水等に関する歴史的資料及び町家を保存、活用するとともに、地域文化向上に寄与する。市民や来館者へ水害や治水の歴史や防災情報を紹介し、治水防災に対する理解を深める。								
	対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)施設利用者(市内外を対象)			対象者数	1,000,000		一人当たりコスト	0.01	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 委託先又は指定管理者:柳菱クラブ(施設管理の一部は直営)								
	事業概要	■施設・設備の管理 ■受付案内業務 ■企画展・関連イベントの企画・開催・運営 ■明治初期に建てられた福知山の典型的な町家建物であり、歴史的建造物として保存活用する。 ■防災センターと連携して、水害や治水の歴史・防災情報を紹介することにより市民の防災意識の向上を図る。 ■より多くの来場者を得て市民全体の防災意識向上を図るため、入館料を無料としている。								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		委託料		指定管理料				3,681		
役務費		保険料				49				
需用費		消耗品費、印刷製本費				132				
関連事業	なし									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		3,733	4,084	3,995				
		補正予算等・・・②		11	△ 61	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		3,744	4,023	3,995				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	0				
		特定財源名称(H29実績)					頁			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.1/0	0.14/0	0.14/0	/			
概算人件費・・・④		800	1,120	1,120						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,544	5,143	5,115					
執行状況	執行額・・・⑥		3,487	3,862						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		93.1%	96.0%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		入館者数	人	3178/3000	3264/3200	/3300	3300			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		開館日数	日	307	305	310	310			
		単位あたりコスト		11.4	12.7					
		単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	由良川の洪水、地出納に関する歴史的資料及び町家を保存活用し、後世に伝えていくことは責務である。地域コミュニティの創造・活性化を図るなど妥当性も高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	指定管理者制度を導入し、効率的な運営を図っている。地元組織が運営に当たることによって、地域と施設が連携して効率的に運営されている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	歴史的建造物である町家建物の保存活用を行い、水害や治水の歴史や防災情報を照会し、治水防災に対する理解を深めるための有効活用ができています。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	■指定管理者による多様なテーマの自主事業実施により、入館者数3,200人を達成している。	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者は治水記念館の地元有志で組織され「昭和28年水害」の貴重な体験談が聞ける施設として地域づくり防災の観点からも有用である。 ■語り部が高齢化しており、次世代への継承が課題であり、今後案内のマニュアルを作成する等検討を進める。 ■施設の運営については指定管理者制度の見直し等もふまえて検討していきたい。 		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> ・治水記念館か、文化施設か、地域施設か、性格があいまいになっていないか？ ・入館者数を増やすために、治水とは関係のないイベントをしているように思われる。来館のきっかけづくりのはずが、集客目的に主客が逆転してはいないか ・本来は、「民間に譲渡して、補助の形で民間活動を応援する」という形が望ましい ・成果のとらえ方は考え直すべき = 入館者数全体ではなく、治水記念館の設置目的にかなう利用者を特定し、カウントすべき ・由良川の洪水、治水等を扱っているので資料の追加、更新は継続してほしい ・語り部の伝承(後継者も含めて)していくことは、必要なので検討されたい 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	芦田均記念館管理運営事業			650316	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成14(2002)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治				
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)文化振興費	決算附属資料	78	頁			
	施策の大綱	文化活動の推進				関連計画等	-			
	施策名	文化活動を振興する				根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	芦田均元首相に関する資料を保存及び活用するとともに、地域文化の向上に寄与する。福知山市名誉市民である芦田均元総理大臣の事跡を紹介し、顕彰する。								
	対象者	市民、入館者、観光入込客数 (全国を対象) 施設利用者 (市内外を対象)	対象者数	1,000,000	一人当たりコスト	0.01				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 委託先又は指定管理者: 芦田均元首相顕彰会								
	事業概要	■施設・設備の管理 ■受付案内、施設使用許可申請業務。 ■芦田均関係資料の収集・整理・保管・展示。 ■企画展・関連イベントの企画・開催・展示。 ■資料展示により、福知山市出身である芦田均元首相を顕彰するため、入館料を無料としている。								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費			
		報酬		選定委員会委員謝金等			53			
報償費		表彰杯等			6					
委託料		指定管理料			3,693					
役務費		保険料			29					
関連事業	なし									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		3,789	3,841	3,907				
		補正予算等・・・②		9	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		3,755	3,813	3,807				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		43	28	100				
		特定財源名称(H29実績)	芦田均記念館使用料			42	使用料	8	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0	0.21/0	0.21/0				
概算人件費・・・④		800	1,680	1,680						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,598	5,521	5,587					
執行状況	執行額・・・⑥		3,791	3,781						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.8%	98.4%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		入館者数	人	3352/3000	3020/3100	/3200	3500			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		開館日数	日	308	307	/310	310			
		単位あたりコスト		12.3	12.3					
		イベント開催回数	回	5	5					
単位あたりコスト		758.2	756.2							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	高い業績や社会貢献をした郷土出身者である芦田均元首相を顕彰することは、人材育成の観点からも妥当性の高いものである。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効率的な運営を図るため、指定管理者制度を導入している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	芦田均元首相に関する資料等を保存・活用するとともに、地域コミュニティの創造・活性化に寄与している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>■指定管理者による多様なテーマの自主事業を実施している。</p> <p>■帰郷者が多く訪れる正月三が日にも自主的に臨時開館するなど、指定管理者の積極的な運営によるところが大きい。</p>	
	今後の課題及び方向性	<p>■郷土出身の芦田均元首相を顕彰する施設であり、芦田均に関する資料の収集や紹介、発信方法等を検討していく必要がある。</p> <p>■施設の運営については、指定管理者制度の見直し等もふまえて適切に対処していく。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <p>・治水記念館と同様、これを市の施設とすることで、どのような価値をもたらそうとしているのか。それを測る指標としてどのようなものがあるのか、改めて点検・検討すること</p> <p>・入館者1人あたり、1,000円以上のコストがかかっているが、それだけの価値があるか</p> <p>・本来は民間譲渡して民間主体の利活用を促し、必要に応じて補助等(1/2程度)することが望ましい</p> <p>・来館者約3千人のうち、イベント以外では1,500人ほど。ほとんど市外からということであるが、コスト(1,800円/人)に見合う成果が得られるように</p>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	新町文化センター管理運営事業			650321	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治				
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)文化振興費	決算附属資料	80	頁			
	施策の大綱	文化活動の推進				関連計画等	-			
	施策名	文化活動を振興する				根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	市民に文化活動の場を提供し、もって市民文化の向上に寄与する。 また一階部分は旧福知山鉄道館ポップランド(ポップランドは平成30年3月31日で閉鎖)、三階・四階部分は文化資料を所蔵している。								
	対象者	市民、施設利用者(市内を対象)	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.08				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 委託先又は指定管理者:公益社団法人福知山市文化協会								
	事業概要	施設・整備の管理運営。受付案内業務。指定管理による管理委託。 【指定管理者】 公益社団法人福知山市文化協会 指定管理期間 H27~H31(5年間)								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		旅費						22		
需用費		光熱水費、施設修繕料				1,939				
役務費		電話代				112				
委託料		指定管理料				1,927				
使用料及び賃借料		土地建物借り上げ料				1,634				
関連事業										
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		5,368	5,368	5,230				
		補正予算等・・・②		121	271	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
		財源内訳	一般財源		4,783	4,964	4,555			
			国支出金		0	0	0			
			府支出金		0	0	0			
			地方債		0	0	0			
	その他特財		706	675	675					
	特定財源名称(H29実績)		新町文化センター使用料		181	使用料	8	頁	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.17/0	0.10/0	0.10/0	/			
		概算人件費・・・④		1,360	800	800				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,849	6,439	6,030					
執行状況	執行額・・・⑥		5,484	5,634						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.9%	99.9%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		利用件数	件	558/600	507/600	/				
		施設利用人数	人	4902/5500	4498/5500	/				
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		開館日数	日	288/300	295/300	/300				
		単位あたりコスト		19.0	19.1					
単位あたりコスト										

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	中心市街地に立地し、文化協会所属団体を中心に活用されており、市民の文化活動の場として必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	賃借料等維持管理費の支出に見合う費用対効果等を検討する時期にある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	中心市街地の文化活動の拠点として活用されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	指定管理で運用している。	
	今後の課題及び方向性	新町文化センターの指定管理期間は平成29年度までであり、建物の賃貸借更新も含めて機能移転先等の候補地の選定を進めたが、適確な移転先を選定できなかったため、2年間に限り指定管理期間を延長した。平成32年度末には不動産賃貸借契約を締結する株式会社京都銀行に建物を返却する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・指定管理期間をしっかりと全うして、次の拠点と今後のあり方を定めること ・需用費は必要最小限に留めること ・施設利用については、文化協会関係者以外の一般・不特定多数の利用を禁止すること(安全面での統一見解) ・成果指標から、H30～31は外す ・(終期に向けて)とくになく現行通り		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山市伝統文化後継者育成事業			650378	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成29(2017)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	森下邦治		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 文化振興費	決算附属資料		80	頁		
	施策の大綱	文化活動の推進				関連計画等	-			
	施策名	文化活動を振興する				根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	丹波漆、丹後和紙等の伝統技術、工芸製品は市民の「心の豊かさ」や「地域の魅力」を創造し、本市の歴史・文化の個性と魅力を引き出す観光・地域資源となっている。この貴重な伝統文化を未来へ継承するため新たな後継者の育成を図る。								
	対象者	後継者		対象者数	1		一人当たりコスト	1,640.00		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 補助先:田中製紙工業所								
	事業概要	福知山市内に伝承される伝統的な工芸・技術を文化としてまた地域産業として継承させる。 ■本市の魅力ある伝統文化(伝統技術・工芸製品)の後継者育成に係る生産者及び伝承活動団体等の事業に対し支援を行う。 ■支援については後継者1人につき3年を限度に補助金を交付する。 ■後継者の育成支援 月額上限50千円、年額 600千円								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
	負担金補助及び交付金		後継者育成補助金				360			
関連事業	なし									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	600	1,100				
		補正予算等・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	0	0				
		国支出金		0	300	0				
		府支出金		0	0	550				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	300	550				
		特定財源名称(H29実績)	後継者育成事業基金繰入		180	基金繰入金	38	頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.13/0	0.13/0	/				
	概算人件費・・・④		0	1,040	1,040					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	1,640	2,140					
執行状況	執行額・・・⑥		0	360						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	60.0%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		後継者の育成	人	-	1/1	/1	2			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		年間勤務日数	日	-	170/240	/240	240			
		単位あたりコスト			2.1					
単位あたりコスト										

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市を代表する伝統文化を保護し、継承を支援する事業であり、必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	平成29年度に立ち上げた事業であるため、より運用しやすい形に交付要綱を見直していく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	後継者活動のPRや本市事業への協力のあり方を検討する必要がある。後継者1人につき3年を限度に支援予定であるが、その後の本市への定着等に課題がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	本市の歴史・文化の個性と魅力を引き出す地域資源・観光資源でもある伝統文化を活用し、貴重な文化を未来へ継承する。 ■本市の誇る伝統文化(伝統技術、工芸製品)の伝承と後継者育成を図ることができる。 ■地元の原材料を素にした工芸製品等の情報発信を行う。 ■地域の文化を継承する定住の促進を図る。 ■本市の文化資源を有効に活用し、文化振興と本市伝統文化の後継者発掘促進を図る。	
	今後の課題及び方向性	本市の誇る伝統文化(伝統技術、工芸製品)の伝承と後継者育成を図る。 ■後継者の独り立ち、生業として定着すること。 ■人材を活用し、文化振興を図る手法を探る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見			
	・市長、議員、特別参与をはじめ、市役所、議会に和紙の名刺を持ってもらう ・本事業は伝統工芸や技術の供給側を支援しているが、需要側の動向を見てゆく必要がある。3年間の支援が終わった時、彼らがちゃんと伝統を守っていけるかどうか、彼らの人生も踏まえたプランが必要でないか。市民の理解を得るためには、伝統工芸が重要であることの市民へのPRは重要 ・地域おこしについて、政策との連携はできないか？ ・商工会の事業では？商工会との連携は不可欠 ・単なる育成補助に終わらないように、施策を進めてもらいたい			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
予算への反映 【財政担当課記入】		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山市文化芸術振興基本方針策定事業			650380	担当課	文化・スポーツ振興課			
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成30(2018)	作成責任者	森下邦治				
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)文化振興費	決算附属資料	80	頁			
	施策の大綱	文化活動の推進			関連計画等	-				
	施策名	文化活動を振興する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	福知山市の文化振興の基本的かつ体系的な方向性をまとめ、今後の市民協働による推進体制の整備、また文化施設のあり方等について検討し、“文化を活かしたまちづくり”を行う。								
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.07				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 策定業務:民間コンサルティング会社								
	事業概要	■文化振興施策の基本的な方向性を定める基本方針の策定を進める。 ■市民と有識者による策定委員会の設置 ■団体等からのヒアリング、市民アンケート調査 ■策定業務は業務委託 債務負担行為:策定業務委託 3,000千円(H29:1,283千円、H30:1,717千円) 策定委員会設置、各種団体ヒアリング、市民アンケート調査、コンサル委託契約								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		報償費		策定委員会委員謝金				225		
旅費		策定委員会委員旅費、事務連絡旅費				65				
需用費		消耗品費				1				
役務費		事務連絡郵送料				9				
委託料		策定業務委託				1,280				
関連事業	なし									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算…①		0	1,591	3,539				
		補正予算等…②		0	0	0				
		繰越し等…③		0	0	0				
		財源内訳	一般財源		0	950	0			
			国支出金		0	0	0			
			府支出金		0	641	1,769			
			地方債		0	0	0			
	その他特財		0	0	1,770					
	特定財源名称(H29実績)		みらい戦略一括交付金		640	府補助金	22	頁		
	職員人件費		従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.47/0	0.47/0	/		
			概算人件費…④		0	3,760	3,760			
総事業費(①+②+③+④)…⑤			0	5,351	7,299					
執行状況	執行額…⑥		0	1,580						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	99.3%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		市民アンケートの実施	人		690/2000					
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		策定委員会の開催	回		3/3	/5				
		単位あたりコスト			526.7					
		単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	現在、本市の文化振興の方針を定める明確な指針が無く、基本方針を策定することにより、市民協働による推進体制等文化を活かしたまちづくりを進める上で必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	文化に精通している市民等による策定委員会を設置し、より市民に身近な内容とし、文化振興を図っていきます。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	より現実性の高い方針を作成し、文化で賑わいと魅力のあるまちづくりを目指す。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	■福知山市文化芸術基本方針策定委員会の設置・開催、団体ヒアリング、市民アンケート調査の実施、調査結果の分析、骨子案の作成 ■市民アンケート2,000通発送、690通回収 回収率34.5% ■策定委員会設置 15名 3回開催	
	今後の課題及び方向性	■策定委員会を開催(5回、施設のあり方検討部会別途3回)し、計画策定を行う。 ■冊子を印刷・製本し、関係機関、希望者等に配付する。 ■文化・芸術の豊かな社会の実現に向けた環境整備の推進を図り、市民とともに文化芸術を振興する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見 ・基本方針等の策定になるべく自前でできるように、徐々に移行していくことが人材育成や財政の観点からも大事 ・政策的位置付けを方針の中に盛り込んでおいて欲しい		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	